

第51回愛知県総合教育センター研究発表会開催案内

期 日	平成23年11月25日(金)	9:30	9:55	10:00	10:20	10:30	12:00	13:00	16:10	16:15
会 場	愛知県総合教育センター	受付	開会行事	講演	休憩	研究発表・研究協議	閉会			

講演 ナノカーボンの世界

～世界的研究は好奇心と偶然から～

名古屋大学大学院理学研究科教授

篠原久典氏



【講師プロフィール】

- ◆ 昭和52年信州大学理学部化学科卒業。昭和54年京都大学大学院理学研究科化学専攻博士課程中退（理学博士）。分子科学研究所助手、三重大学工学部助教授を経て、現在、名古屋大学大学院理学研究科教授名古屋大学高等研究院教授（併任）
- ◆ フラーレン・ナノチューブ・グラフェン学会会長（～平成23年3月）
- ◆ 平成23年 中日文化賞 受賞

研究発表・研究協議（13:00～16:15：各部会同時進行）

部会	対象	発表題目	発表概要	発表関係者
1	小中高特	「活用」を意識した授業改善と評価の在り方に関する研究	新学習指導要領に関する21年度までの所内研究を継続・発展させ、「活用」を意識した授業の改善と、指導と評価の一体化の視点での評価の在り方について研究を進めた。小・中・高の国語科と小・中の算数・数学科における「話し合い活動」とそれを組織する教師の支援に着目した授業実践に基づいて、授業の全体像を具体化するとともに授業改善につながる指針を提案する。	半田・岩滑小学校 大橋 勝久 西尾・三和小学校 杉原めぐみ 稲沢・明治中学校 吉次真奈美 田原・野田中学校 早川 享司 県立常滑高等学校 林 直紀 総合教育センター 宮崎 千智 佐治 宏昭 山口 雅俊 宮谷真一郎 山口 明則
2	小中高特	生きる力をはぐくむESD実践カリキュラムの開発に関する研究	ESD（持続発展教育）は、新学習指導要領で持続可能な社会構築について言及されたり、国立教育政策研究所においても実践研究されたりするなど、その重要性はますます高まっている。そこで、ESDの実践に実績のある環境省中部環境パートナーシップオフィスと協同し、学校レベルにおいて、ESDの視点を取り入れた生きる力をはぐくむ実践カリキュラムを研究・開発し、その成果を報告する。	あま・甚目寺小学校 佐美 茂 東浦・緒川小学校 原 伊津子 岡崎・新香山中学校 山内 貴弘 県立豊田東高等学校 小瀧 逸子 総合教育センター 井中 宏史 山口 明則 佐々木佐知子 佐治 宏昭 榎田 敏宏 共同研究者 環境省中部環境パートナーシップオフィス 新海 洋子 チーフプロデューサー
3	小中高特	高等学校における特別支援教育の実践に関する研究	高等学校における特別支援教育の取組は緒についたばかりであり、発達障害のある生徒への指導・支援を中心として、まだまだ取り組むべき多くの課題が残されている。本研究では、県内公立高等学校における特別支援教育に関する調査を基に現状を把握し、高等学校における特別支援教育を推進する上で、どのような問題があるのかを整理し、高等学校の中で実際に行える実践、具体的な方策について検討する。	県立明和高等学校 近藤 志伸 県立旭野高等学校 小島 豊彦 県立起工業高等学校 余吾 卓志 県立猿投農林高等学校 柴田 明美 県立刈谷東高等学校 高須 了 豊橋市立豊橋高等学校 伴野 美香 県立春日井高等養護学校 中村 和美 県立豊田高等養護学校 中川恵乃久 総合教育センター 大脇 千尋 木村 豊 犬飼 保夫 矢野 正明 大西 淳子 松原 正明 米津 明彦 溝口 克治
4	小中高特	学校における教育の情報化について～ICTの授業活用と校務の情報化～	教育の情報化の推進を目指し、「情報教育の充実に関する研究」に取り組んでいる。今回は、「ICTの授業活用」と「校務の情報化」の2つの小分科会に分かれて発表する。「ICTの授業活用」では、パソコンや電子黒板等の情報機器の各教科での利用場面、教材作成のヒント等について具体的に紹介する。「校務の情報化」では、校内LANの有効活用について、グループウェアの活用を中心に紹介する。	総合教育センター 阿部 孝広 水野 修治 岩月 迅美 太田 学 小山 真臣 加藤 勝義 田中 基明 井谷 直樹 古関 利勝 壁谷 光
5	小中高特	魅力と活力のある家庭・福祉教育を目指して～新学習指導要領の趣旨を踏まえた教科指導の充実に関する研究～	専門教科「家庭」では、「食育の推進」を意識した専門性を深める指導の在り方について、共通教科「家庭」では、言語活動を通じた思考力・判断力・表現力の育成をする指導の在り方について、研究実践及び成果と課題を報告する。また教科「福祉」では、質の高い福祉サービスを提供できる人材の育成を目指し、専門科目「生活支援技術」と「介護過程」についてICT機器を使った研究実践及び成果と課題を報告する。	指導・助言 愛知県立吉良高等学校 鋤柄由美子 校長 県立名古屋南高等学校 廣瀬真希子 県立古知野高等学校 坪井 敦子 県立一宮工業高等学校 林 康子 県立宝陵高等学校 千田 理愛 総合教育センター 近藤 美和
6	小中特	理数系教員（コア・サイエンティチャー：CST）養成拠点構築事業に関する研究	あいちCST事業では、大学と教育委員会が連携し、地域の理科教育において中核的な役割を担う拠点の整備と指導の中核となる教員を養成することで愛知県の理科教育の向上を目指している。そのための養成プログラムやCST養成拠点での取組の成果と課題を報告するとともに、今後の取組の指針を提案する。	愛知教育大学教育学部 吉田 淳 教授 名城大学教職センター 野々山 清 教授 蒲郡市生命の海科学館 川上 昭吾 館長 名古屋保育福祉専門学校 加藤 晃 校長 一宮・大和中学校 堀 将礼 豊田市教育委員会 宇野 喬 指導主事 豊川市教育委員会 山田 佳宏 指導係長 総合教育センター 井中 宏史 榎田 敏宏 佐藤振一郎 佐治 宏昭

* 本館5階図書資料室開館中（9:00～17:00）に、教育論文を展示します。休憩中（12:10～12:50）に、教育相談特別研修論文紹介ビデオを上映します。

昼食 当日の昼食は、受付時に食券（¥800・お茶付）を販売します。

申込み 参加を希望される方は、別紙「参加申込書」に必要事項を御記入の上、10月24日（月）までに、E-mail、郵送又はFAXにて、下記あてに、お申し込みください。なお、できる限り、E-mailによる送付をお願いいたします。その場合、件名を「センター発表会」としてください。FAXの場合、送信票等は付けず、「参加申込書」のみ送付してください。
また、愛知県総合教育センターホームページ（「教育研究調査」→「研究発表会のご案内」）にも「開催案内」「参加申込書」が掲載されていますので、ダウンロードして御利用ください。（<http://www.apec.aichi-c.ed.jp/>）

お願い 御来場の際には、公共交通機関を御利用ください。名鉄豊田線「米野木」駅下車、南へ600mです。

〒470-0151	愛知郡東郷町大字諸輪字上鉾68	愛知県総合教育センター	研究部 経営研究室
FAX	0561-38-2780	電話	0561-38-9503（ダイヤルイン）
E-mail	sogokyoiku-c@pref.aichi.lg.jp		